

定住自立圏
中心市宣言書

平成21年9月1日
(平成30年6月修正)
熊本県山鹿市

中 心 市 宣 言

山鹿市は、熊本県の北部に位置し、古くは江戸時代の参勤交代の宿場町として豊前街道沿いを中心に栄えてきました。また、豊富な湯量を誇るやまが温泉五湯郷や溪谷、棚田などの豊かな自然と、菊池川流域の装飾古墳群や古代の山城・鞠智城、さらには山鹿灯籠まつりや江戸時代の芝居小屋の姿を今に伝える八千代座など、歴史・伝統に育まれた数多くの財産を有しています。

これらに加え、近隣市町村をカバーする商業施設をはじめ、県地域振興局、警察署、税務署及び裁判所等の各行政・司法機関、地域拠点医療機関である市民医療センターや福祉・介護施設、高等学校や専修学校などの教育機関、公共交通機関等が立地するなど、生活に必要な都市機能について一定の集積があるところです。

現在、我が国は、人口減少社会へ突入し、特に地方においては、少子高齢化や大都市圏への人口流出など人口減少が急激に進み、地域社会に及ぼす影響はさらに厳しさを増すことが予想されます。

こうした中、今後も地域を維持・発展させていくには、市域を超えた広域的な圏域での取組を展開することが不可欠であり、圏域全体で暮らしに必要な機能を確保し、かつ、利用しやすい環境を整えながら、圏域内の結びつきやネットワークを強化することで、さまざまな地域課題に対応していくことが、これまで以上に必要になってきます。

このような認識のもと、本市は、生活に必要な都市機能を備え圏域全体の総合的なマネジメントを行いながら、周辺市町村とそれぞれの地域特性を活かした連携を図ることで、圏域住民が暮らしやすい魅力あふれた圏域の形成に向けた中心的な役割を果たすことをここに宣言します。

平成30年6月

山鹿市長 中嶋 憲正

1 山鹿市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能、中核的な医療機能、大規模商業・娯楽機能その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は概ね以下のとおりである。

分野	区分	機関又は施設の名称
行政等	国	・熊本地方法務局山鹿支局 ・熊本地方検察庁山鹿支部 ・熊本地方裁判所山鹿支部 ・熊本家庭裁判所山鹿支部 ・山鹿税務署 ・国土交通省菊池川河川事務所 ・国土交通省熊本河川国道事務所山鹿維持出張所 ・自衛隊熊本地方協力本部山鹿地域事務所 ・熊本森林管理署内田森林事務所
	県	・熊本県県北広域本部鹿本地域振興局 ・熊本県山鹿保健所 ・熊本県立教育センター ・山鹿警察署 ・城北家畜保健衛生所
医療	医療機関(病院)	・山鹿市民医療センター ・山鹿回生病院 ・山鹿温泉リハビリテーション病院 ・保利病院 ・山鹿中央病院 ・三森循環器科・呼吸器科病院
福祉	児童福祉施設	・保育所 22 施設 ・児童館 4 施設 ・子育て支援センター 6 施設 ・病後児保育室 2 施設
	高齢者福祉施設	・養護老人ホーム 2 施設 ・軽費老人ホーム 1 施設 ・有料老人ホーム（住宅型） 7 施設 ・サービス付き高齢者住宅 3 施設 ・高齢者専用賃貸住宅 1 施設 ・老人福祉センター 3 施設 ・包括支援センター 1 施設 ・山鹿シルバー人材センター 1 施設
	障害者福祉施設	・指定障害者支援施設 2 施設 ・共同生活援助（グループホーム） 6 施設 ・地域活動支援センター 5 施設 ・特定相談支援・障害児相談事業所 6 施設 ・障害福祉サービス通所事業所 15 施設

		・指定障害児通所支援事業所 5 施設
	介護保険施設	・介護老人保健施設 3 施設 ・介護老人福祉施設 6 施設 ・地域密着型特別養護老人ホーム 1 施設
	介護サービス事業所 (居宅)	・認知症対応型共同生活介護 9 事業所
	介護サービス事業所 (在宅)	・小規模多機能型居宅介護 11 事業所 ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 事業所 ・訪問看護 6 事業所 ・訪問介護 17 事業所 ・訪問リハビリテーション 2 事業所 ・通所介護 12 事業所 ・地域密着型通所介護 11 事業所 ・認知症対応型通所介護 2 事業所 ・通所リハビリテーション 8 事業所 ・居宅介護支援事業所 30 事業所
	介護予防拠点	・介護予防拠点 14 施設
教育	高等学校	・熊本県立鹿本高等学校 ・熊本県立鹿本商工高等学校 ・熊本県立鹿本農業高等学校 ・城北高等学校
	専修・各種学校	・鹿本医師会看護学校
商業・娯楽	大型店 (売場面積：1,000 m ² 以上)	・ニューダイエー ・ゆめマート山鹿店 ・ハイパーモールメルクス山鹿店 ・ゆめマート東山鹿店 ・グッデイ山鹿店 ・スーパーミカエル ・BOOKS あんとく山鹿店 ・ダイレックス山鹿店 ・九州テックランド山鹿店 ・ケーズデンキ山鹿店 ・ドラッグストアモリ山鹿店 ・ホームプラザナフコ山鹿店 ・ディスカウントドラッグコスモス桜町店 ・ディスカウントドラッグコスモス山鹿店 ・コメリホームセンター山鹿店 ・ニトリ山鹿店 ・ベスト電器熊本山鹿店 ・ロッキーホームセンター鹿本店 ・ホームプラザナフコ鹿本店 ・ディスカウントドラッグコスモス鹿本店 ・アタックス鹿本店

文化・ スポーツ	文化施設・民芸館	・ 八千代座 ・ 山鹿灯籠民芸館 ・ 山鹿市民交流センター ・ 県立装飾古墳館 ・ 県立装飾古墳館分館 - 歴史公園鞠智城・温故創生館
	博物館等	・ 山鹿市立博物館 ・ 山鹿市出土文化財管理センター ・ 清浦記念館
	スポーツ施設	・ 山鹿市民スポーツセンター ・ カルチャースポーツセンター（総合体育館） ・ 山鹿市民球場 ・ 山鹿市民武道館 ・ 山鹿市民プール ・ 山鹿市鹿北体育センター ・ 山鹿市城北体育館 ・ 山鹿市鹿本体育館 ・ 山鹿市あんずの丘多目的体育館 ・ 山鹿市菊鹿多目的研修集会施設 ・ 山鹿市鹿北グラウンド ・ 山鹿市城北運動場 ・ 山鹿市菊鹿運動広場 ・ 山鹿市鹿本グラウンド ・ 山鹿市鹿央体育館 ・ 山鹿市鹿央運動公園 ・ 山鹿市菊鹿テニスコート ・ 山鹿市鹿北柔剣道場 ・ 山鹿市鹿北弓道場 ・ 山鹿市鹿本柔剣道場 ・ 山鹿市川辺運動場 ・ 山鹿市岳間運動場 ・ 山鹿市岩野運動場 ・ 山鹿市山内体育館
交通	バスセンター	・ 山鹿バスセンター

(参考) 圏域における商工業の立地状況

① 製造業

市町村名	事業所数 (社)	従業者数 (人)	年間製造品出荷額 (百万円)
山鹿市	94	3,395	73,115
和水町	21	1,204	27,145
総 数	115	4,599	100,260

出典：平成26年工業統計調査

② 卸売業

市町村名	事業所数 (社)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)
山鹿市	68	440	15,308
和水町	21	103	2,848
総 数	89	543	18,156

出典：平成26年商業統計調査

③ 小売業

市町村名	事業所数 (社)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (万円)
山鹿市	407	2,318	40,539
和水町	73	298	3,047
総 数	480	2,616	43,586

出典：平成26年商業統計調査

2 圏域の住民による都市機能の利用状況

次のとおり、和水町の住民も山鹿市に集積された都市機能を利用しており、山鹿市の都市機能は和水町にも及んでいることが見て取れる。

(1) 市民医療センターの利用状況（平成28年度）

	利用者総数 (人)	山鹿市		和水町		その他市町村	
		利用者 (人)	割合	利用者 (人)	割合	利用者 (人)	割合
入院	2,664	2,187	82.1%	211	7.9%	266	10.0%
外来	11,920	9,636	80.9%	885	7.4%	1,399	11.7%
病院の概要	病床数：一般病床 197 床、感染症病床 4 床 合計 201 床 診療科目：一般内科、呼吸器内科、循環器内科、内分泌・代謝科内科、消化器内科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、産婦人科、リハビリテーション科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、放射線科 医療機関指定：熊本県指定がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、開放型病院、救急告示病院、病院群輪番制病院、災害拠点病院、第二类感染症指定医療機関、臨床研修指定病院（協力型）、DMAT 指定病院、労災指定病院						

出典：山鹿市民医療センター調べ

(2) 購買動向（山鹿市の商業施設への圏域住民の購買状況）

市町村名	食料品	日用 雑貨品	衣料品	身回品 (靴・履物等)	文化品 (電化製品等)	贈答品
和水町	61.0%	40.2%	47.5%	18.9%	47.6%	22.2%

出典：平成27年熊本県消費動向調査

(3) 薄尾斎場の利用状況（平成28年度）

利用者総数 (人)	山鹿市		和水町		その他市町村	
	利用者（人）	割合	利用者（人）	割合	利用者（人）	割合
815	775	95.1%	2	0.2%	38	4.7%

出典：山鹿市環境課調べ

(4) 山鹿市内図書館等の利用状況（平成28年度）

個人登録者 総数（人）	山鹿市		和水町		その他市町村	
	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合
23,788	23,167	97.4%	176	0.7%	445	1.9%

出典：山鹿市社会教育課調べ

3 展開しようとする取組

圏域全体の活性化を通じて人口定住を図るという観点から、中心市と周辺市町村が役割分担しながら連携して展開しようとする主な取組は次のとおりである。

(1) 生活機能の強化に関する取組

① 医療

- 圏域内における保健、福祉、医療間のネットワークを構築するとともに、開放型病院として山鹿市民医療センターを位置付け、同病院と地域医療機関との連携強化に取り組む。
- 誰もが24時間、365日適切な救急医療を安心して受けられる医療体制や小児医療に係る救急・夜間の診療体制の充実に取り組む。

② 福祉

- 乳幼児期から大人になるまでの成長を見通し、子ども達がその時々に必要な支援を受けられ、また親が親としての喜びを感じながら子育てができるよう中心市と周辺市町村が連携しながら必要な機能や施設を整備するなど、総合的な子育て支援体制の整備に取り組む。
- 高齢者が住み慣れた地域で介護サービスや福祉サービス等の包括的ケアを受けられるよう、地域と関係機関との連携を推進するとともに、要支援・要介護状態ではない高齢者の介護予防について、地域や家庭と連携を密にした支援体制の充実に取り組む。

③ 産業振興

- 消費者ニーズに合致し、市場での評価も高い売れる農産物・農産加工品づくりを進めるため、重点農産物等の選定・認証を行い、新たな販路開拓戦略を設定し、地域ブランドの確立に取り組む。
- こうした農産物等の新たな販路開拓を通じて、地産地消への取組として地元の旅館やホテルに地元農産物等を食材として積極的に提供するとともに、継続的に安定供給ができる仕組みづくりを検討するなど、観光と農業の連携による産業振興策の構築について取り組む。
- 八千代座を中心とする豊前街道沿いの歴史的街並みの魅力と農産物や棚田などの

地域資源を活用した農山村体験交流などを有機的に結びつけた観光地づくりに取り組む。

- 企業情報の収集や市内工場用地の資料提供に努めるなど、積極的な企業誘致活動を行う。また、新たな工業団地の整備を具体化するため、各関係機関との協議・調整に取り組む。

（２）結びつきやネットワークの強化に関する取組

① 地域公共交通

- 人口減少や高齢化の進行により、自ら生活交通の確保ができない人や家族で送迎ができない人などが便利で快適に利用できるよう、「山鹿市あいのりタクシー」などの新たな公共交通手段を活用し、圏域全体の地域公共交通網の形成に取り組む。

（３）圏域マネジメント能力の強化に関する取組

① 人材の育成

- 職員研修のさらなる充実や国・県等との人事交流を通じた人材の育成に取り組む。

4 山鹿市に対する通勤通学割合が0.1以上の市町村

山鹿市に対して従業又は通学する就業者数及び通学者数を、常住する就業者数及び通学者数で除して得た数値（以下「通勤通学割合」という。）が0.1以上である市町村は、次のとおりである。

市町村名	人口（人）	山鹿市への通勤通学割合
和水町	11,900	15.1%

出典：平成17年国勢調査

※和水町は、平成18年3月1日に菊水町と三加和町が合併して誕生した町。よって、人口については、旧町の人口の合計である。